

# 施策分析シート（令和3年度）

No1

<b>施策名</b>	快適な生活道路の整備	<b>施策No</b>	08-03	<b>部課名</b>	防災都市づくり部基盤整備課
				<b>課長名</b>	諸角 内線 2730
<b>関連部課名</b>	防災都市づくり部施設管理課、建築指導課				
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	IV	環境先進都市		
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	08	良好で快適な生活環境の形成		

**目的** 区民に最も身近な都市施設である道路を誰もが安全に、かつ、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理を行うとともに、拡幅・改修等を行う。

	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	周辺環境の快適さ	3.06	3.06	-	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
②	防災性	2.23	2.33	-	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
③	安全・安心の実感	2.60	2.69	-	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？
④					

  

	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	陳情件数(件)	1,050	1,000	920	900	1,000	平成18年度件数(2,129件)の半減(道路・街路灯等)
②	細街路後退用地整備率(%)	44	45	46	47	52	整備延長/整備対象道路延長両側(自主整備含む)
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	元年度	2年度	差額		元年度	2年度	差額
行政費用	給与関係費	176,261	177,103	842	地方税等	0	0
	物件費	201,272	216,144	14,872	国庫支出金	4,200	5,000
	維持補修費	353,706	363,422	9,716	都支支出金	10,748	50,968
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	31,111	48,673	17,562	使用料及び手数料	758,439	756,832
	減価償却費	136,773	138,627	1,854	その他	132,506	82,024
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	905,893	894,824
	賞与・退職給与引当金繰入額	17,146	33,037	15,891	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲278,654	▲448,728
	その他行政費用	268,278	366,546	98,268	金融収支差額(d)	▲1,285	▲1,093
	行政費用合計(b)	1,184,547	1,343,552	159,005	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲279,939	▲449,821
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲279,939	▲449,821	

  

貸借対照表	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	元年度	2年度	差額		元年度	2年度	差額
流動資産	収入未済	765	689	▲76	流動負債	25,796	22,938
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	16,244	13,678
固定資産	有形固定資産	189,781,191	190,144,679	363,488	賞与引当金	9,552	9,260
	土地	176,307,453	176,546,032	238,579	その他の流動負債	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	204,799	189,683
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	98,192	84,513
	工作物等	16,042,004	16,305,540	263,536	退職給与引当金	106,607	105,170
	工作物等減価償却累計額	▲2,568,266	▲2,706,893	▲138,627	その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	230,595	212,621
建設仮勘定	116,226	156,356	40,130	正味財産	189,668,799	190,090,315	
その他の固定資産	1,212	1,212	0	正味財産の部合計	189,668,799	190,090,315	
資産の部合計	189,899,394	190,302,936	403,542	負債及び正味財産の部合計	189,899,394	190,302,936	

### 財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用のうち、維持補修費は、主に道路改修費や道路応急工事費である。
- 行政費用のうち、その他行政費用は、主に電線共同溝整備に伴う移設補償費や私道整備工事費である。
- 行政収入のうち、その他は、占用工事道路復旧費であり、差額については、区が道路を本復旧する箇所の減少分である。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○平成26年度に道路ストック総点検を実施し、アスファルト舗装の路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ、凸凹確認等）の健全度を確認した。</p> <p>○平成29年度から平成30年度の2年間で、路面下空洞調査を実施し、発見した空洞箇所については、占用企業者と連携補修を実施した。</p> <p>○平成26年度にJR東日本と共同で、紅葉坂跨線人道橋について耐震診断、部材の健全度調査を実施し、平成27年度に架替え、補修、バリアフリー化について検討を行い、バリアフリー化を基本とした整備を実施することとした。その後、令和元年度は、エレベーター及びエスカレーターの設置に向け、概略検討を行った。また、バリアフリー工事の実施には、時間を要するため、令和元年度に高欄の塗装工事を実施した。さらに、令和2年度には、より具体的な調査、検討を行い、課題の抽出を行った。</p> <p>○本区が管理している下御隠殿坂跨線道路橋と第二日暮里跨線橋の2橋の道路橋5年に1度の法定点検において、予防保全を講ずる段階との判定が出ており、機能維持のために対策を講じていく必要がある。</p> <p>○荒川区バリアフリー基本構想及び重点整備地区の基本構想等に基づき、道路のバリアフリー化に取り組んでいる。</p>
課題	<p>○道路ストック総点検の結果を踏まえ、危険度の高い箇所については既に対応が完了しているが、引き続き損傷や陥没等、道路における機能不全の早期発見に努めていく必要がある。</p> <p>○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念されることから、引き続き対応する必要がある。</p> <p>○紅葉坂跨線人道橋については、エレベーター及びエスカレーターの設置に向け、引き続き検討を進めるとともに、JR東日本や京成電鉄、第六建設事務所、道路占用企業者、交通管理者と協議を行う必要がある。</p> <p>○跨線道路橋は、JR東日本や京成電鉄の営業線路上空を跨いでおり、予防保全のための補修工事を行うには、莫大な経費と工事期間が必要となることから、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的に補修を実施していく必要がある。</p> <p>○バリアフリーに対応していない路線や、街路樹の根上がり等により安全な通行に支障がある路線等については、計画的に改修を進めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○道路ストック総点検で確認された不具合については、引き続き優先順位を付けて計画的に補修を実施する。</p> <p>○路面下空洞については、引き続き調査を実施し、道路の安全性を確保する。</p> <p>○紅葉坂跨線人道橋については、エレベーター及びエスカレーターの設置に向けて検討を進めるとともに、関係機関との協議を行う。また、財源確保のために、国や都と調整する。</p> <p>○優先度が高い第二日暮里跨線道路橋から補修・補強に向けて検討を進める。</p> <p>○バリアフリーに対応した段差解消や歩道のセミフラット化など、安全性を高める整備を計画的に進めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
道路占用等事務	11-03-01	12,178	24,470	1,408	1,595	継続	継続	道路及び公園を適正な状態で管理するうえで必要な事業であるため、継続して実施する。
道路管理システム運営	11-03-03	13,560	20,879	2,790	2,792	継続	継続	道路管理事務や占用企業の申請処理業務など、事務の効率化に必要な事業であるため、継続して実施する。
占用工事道路復旧事業	11-03-04	53,501	41,397	35,551	30,758	推進	推進	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路の良好な維持管理に不可欠な事業であるため、推進する。
道路管理事務	11-03-05	68,186	82,065	26,955	33,123	推進	推進	道路を適正に管理するために必要な事業であり、推進する。
日暮里駅前イベント広場等の運営管理	11-03-11	5,385	1,596	—	—	継続	継続	地域活性化イベントの開催を目的とした広場の適正な管理運営を行う事業であるため、継続して実施する。
道路ストック総点検事業	11-04-03	19,850	35,255	16,621	33,937	推進	推進	定期的に点検を実施することにより、道路利用者及び第三者への被害防止のための事業であるため、推進する。
道路清掃事業	11-04-04	72,034	75,181	63,601	64,484	継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路維持事業	11-04-05	235,676	225,774	79,207	75,623	継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路損傷復旧事業	11-04-06	9,413	7,204	0	0	継続	継続	道路附属物等の損傷に対応する手段の一つとして必要な事業であるため、継続して実施する。
道路応急工事事業	11-04-07	86,645	86,602	83,416	84,510	継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠な事業であるため、継続して実施する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
街路樹等管理事業	11-04-09	61,104	67,278	56,490	61,799	推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等を適正に維持管理する事業であるため、推進する。
道路改修事業	11-04-10	181,486	316,943	267,199	331,439	継続	継続	安全かつ安心して通行できる道路となるよう計画的な改修が必要な事業であるため、継続して実施する。
紅葉坂跨線人道橋整備事業	11-04-14	36,451	16,934	32,298	13,420	重点的に推進	重点的に推進	当該跨線人道橋はJRや京成の線路を跨いでおり、健全な状態を維持していくことが必要な事業であるため、重点的に推進する。
私道整備事業	11-04-19	52,094	39,377	48,214	34,830	継続	継続	公道を補完する機能を有する私道についても、公道に準じた整備を行う必要がある事業であるため、継続して実施する。
細街路拡幅整備事業（工事）	11-04-20	221,244	244,653	424,187	472,757	重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図る上で、細街路の拡幅は重要な事業であるため、重点的に推進する。
細街路拡幅整備事業（助成）	11-05-01	55,739	57,943	29,792	25,027	重点的に推進	重点的に推進	密集地域の防災性の向上及び住環境改善を図る事業であるため、重点的に推進する。
合計		1,184,546	1,343,551	1,167,729	1,266,094			